

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

## 解熱鎮痛薬 アロビタール錠

第②類医薬品

### ⚠ 使用上の注意

**❌ してはいけないこと** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・  
事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください  
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください  
(眠気があらわれることがあります。)
4. 服用時は飲酒しないでください
5. 長期連用しないでください



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください  
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある小児(15歳未満)。  
(4) 高齢者。  
(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。  
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(7) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。  
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- (2) 5~6回服用しても症状がよくなる場合

[裏面もお読みください。]

〔成分・分量〕 1日量9錠（1錠325mg）中

アセトアミノフェン	900mg
エテンザミド	800mg
無水カフェイン	250mg
プロモバレリル尿素	300mg

添加物として、無水リン酸水素Ca、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、カルメロースCa、ステアリン酸Mgを含有します。

〔効能・効果〕

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

〔用法・用量〕

次の量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

大人（15才以上）	1回3錠
11才以上15才未満	1回2錠
11才未満	服用しないでください。

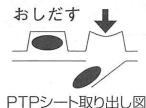
＜用法・用量に関連する注意＞

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4)配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。
- (5)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部分を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



〈お問い合わせ先〉

製造販売元 **美吉野製薬株式会社**

奈良県吉野郡大淀町大岩692

電話 0745-67-0144 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）